

# KARO

カーインテリアの  
オシャレは足元からキメたい!

フロアマットは、インテリアのなかで天井やシートに次ぐ広いスペースを占める見逃せないポイント。効果的にインテリアをグレードアップしたいのなら、フロアマットのトップブランド「カロ」を忘れちゃいけない!

REPORT ● 井口豪 PHOTO ● ウイズ・フォト  
問KAROお客様相談室 TEL03-3374-1955 <http://www.karo1980.jp/>



「カロ」のフロアマットは、5タイプ17色をラインナップ。価格はH19/09～を除くゴルフVの場合、シザル ¥33,800、フラクシー ¥34,800、ウーリー ¥35,800、クローネ ¥39,800、クエスト ¥44,800

## フロアマットで演出する ワンランク上のインテリア

かつてのフロアマットは、表面もゴム素材の味気ないものが主流だった。転換期を迎えたのは約30年前。ポルシェがココヤシの繊維を採用したフロアマットを装備し、今ではあらゆる車種で繊維製のフロアマットが標準装備されている。しかし、ノーマルのフロアマットは、まだまだ改善の余地を残したチープなものに思えてしまう。その理由は、高い品質とファッション性を誇る「カロ」のフロアマットが存在しているからだ。

「シザル」は天然素材のシザル麻を使用したロングセラー商品。誕生以来、大きなモデルチェンジをすることなく現在に至っている。では、なぜ「カロ」は長きに渡り、多くのファンに愛され続けているのだろうか。その疑問をひも解く鍵を教えてください。元木サンは、創業当時「カロ」を支えてきた生え抜きの職人。まさに「カロの生き字引」とも言える人物だ。

「どうしてもファッション性は注目がちですが、「カロ」のマットには快適な車内空間を実現する数々の工夫が施されています。発泡ゴムを採用することで静寂性と防熱性を高めています。」



VW GOLF V  
ノーマルフロアマット  
ノーマルのフロアマットでは、違和感はなくともファッション性に欠ける



### KRONE 新色ツイードボルドー

汚れや油分が付着しにくいSG加工を施したクローネは、特殊化学繊維を採用した天然ワールのようなしなやかな肌触りが特長。上品でシンプルなツイード調の織り柄は、インテリアやボディカラーを問わず幅広い雰囲気にマッチする。写真のツイードボルドーは、奥深いワインカラーで品格のある上質な車内空間を演出する新色。

### SISAL ブルー/ブラック

天然素材のシザル麻を使用したロングセラーの「シザル」は、鮮やかな色彩と独特の光沢。天然素材だから、静電気の防止にも効果を発揮する。豊富なカラーバリエーションから好みの色合いをセレクトできる。



車種ごとの専用設計だから車内の凹凸も障害にならない。置くだけでスペースにフィットするので、簡単にインテリアをグレードアップできる

### QUEST ウォームブラック

特殊化学繊維とカット&ループ製法で、長い毛足とボリューム感を実現した「カロ」のフラクシーモデル。SG加工を施し、高密度で丹念に織り上げられた重厚な繊維が抜群の防音効果と断熱効果を発揮する。



### QUEST 新色ウォームグレイジュ

クエストのカラーラインナップに加わったウォームグレイジュ。上品な色合いは、フラクシーベースのシックなインテリアにも、ページの明るい雰囲気にも融合する。



「カロ」のフロアマットは、フロント&リアの4枚セットが基本。特に使用頻度の高い運転席のみなど単品オーダーも可能だ

ますし、ドライバーのかかと部分に装備したフットプレートは支点的スレを防止しながら汚れと摩擦を防いでくれます。それらの良さを実感していただけているからこそ、一度使った方が再び選んでいただけていると思います。」

その高品質な「カロ」のマットは、受注生産で丁寧に作り上げられている。「カロ」のフロアマットは、国内工場一枚一枚を手作りで製作するオーダーメイドとなっています。ご希望のタイプとカラーをセレクトし、カタログ品番をご注文していただいております。」

そのカタログ品番を明記した表には、適応車種が型式ごとにスラリと並ぶ。「現在H25/6車種のフロアマットに対応しています。弊社では、一度型をとったものはいつでも生産できる状態にあるので、適応車種は増えることがあっても減ることはありません。」

H25/6は、取材日現在の数字。本誌が発売されたときには、これ以上の適応車種を数えている可能性もある。純正のフロアマットはモデルチェンジの数後に廃番になってしまうので、



新型車が発表された際は、インテリアスペースの型を厳密に手作業でとるのが「カロ」のスタイル。この後にデータベース化した型は、半永久的に保存される



純正フックでマットをホールドできない車種に関しては、オリジナルマットストッパーを付属している



Hiroshi Motoki  
元木 宏サン  
「カロ」の創業時からフロアマット一筋の元木サン。ユーザーからの信頼も厚く、既存の適応車種にない型にも親身に対応してくれる

消耗した際の交換にも重宝する。しかも、適応車種は5タイプをラインナップする「カロ」のフロアマットすべてを網羅しており、車種によってタイプが限定されることはない。そして、どんな車種であるとしても、あらゆるタイプのフロアマットが選べる点も「カロ」の魅力なのである。

「発色のよさと独特の光沢でカジュアルなジャンルに属するのが「シザル」です。「シザル」の雰囲気を生かしてウールライクな織りにしたのが「フラクシー」、その次に「ウーリー」、クローネと続き、もっとも毛足の長いボリューム感を持つ「クエスト」が、フラクシーモデルに位置しています。」

「このことは、明るい雰囲気のインテリアには「シザル」を装着し、重厚なムードを大事にしたい場合は「クエスト」をセレクトする手法も可能になる。もっというなら、冬の季節は温かみのあるタイプを、暑い夏は涼しげな「シザル」を、といったファッション感覚でフロアマットを着せかえるスタイルアップもできるというわけだ。」